

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2015年度下半期の発行動向～

本調査は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2015年度下半期（2015年10月～2016年3月）発行分の結果を取り纏めたものです。

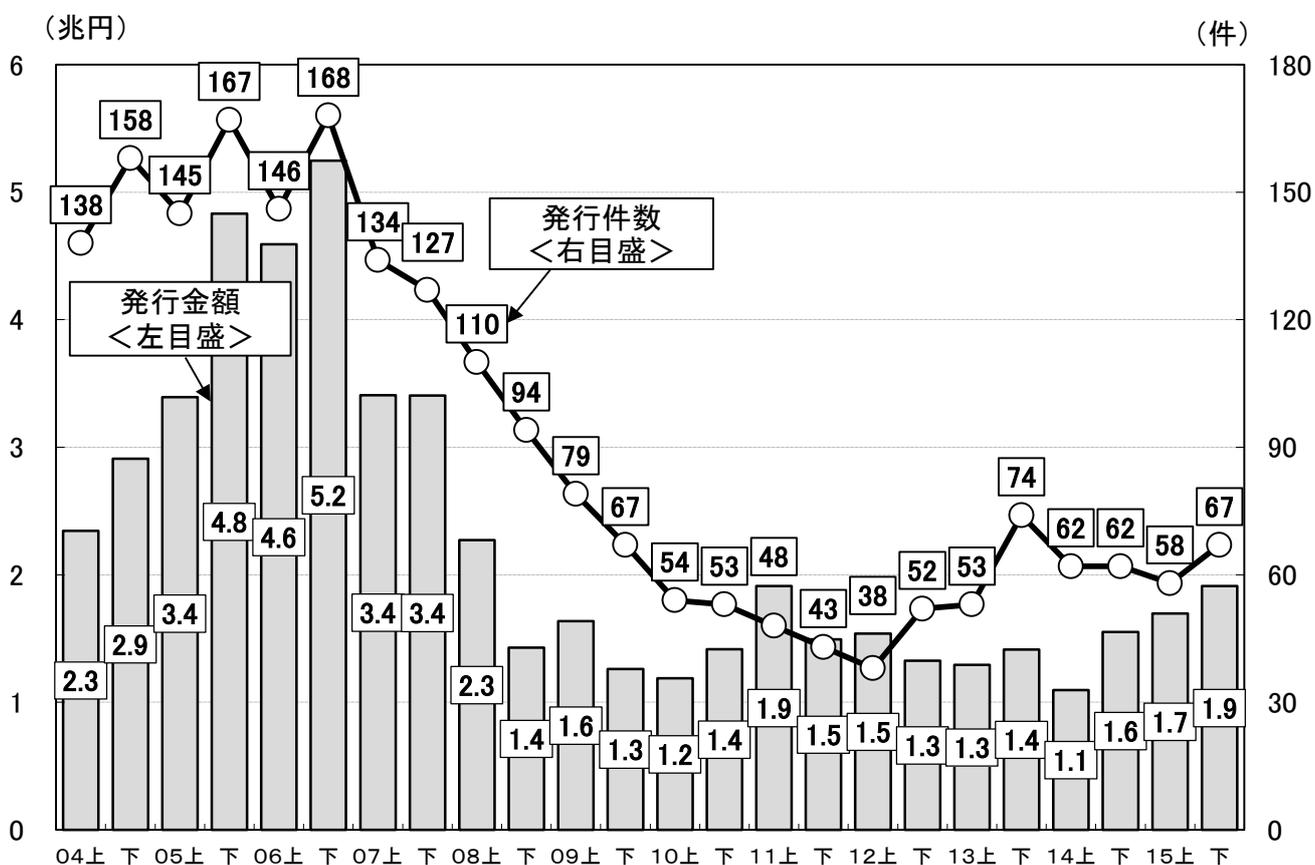
なお、図表において使用する数値データにつきましては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2015年度下半期における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに前年同期を上回り（金額1兆9,126億円<前年同期比+23.2%>（※）、件数67件<同+8.1%>）、2008年度下半期以降で最も大きな発行金額となった（図表1）。

（※）2015年度下半期における普通社債の発行金額は3兆4,910億円（暫定数値）であった。

（図表1）証券化商品の発行金額・発行件数



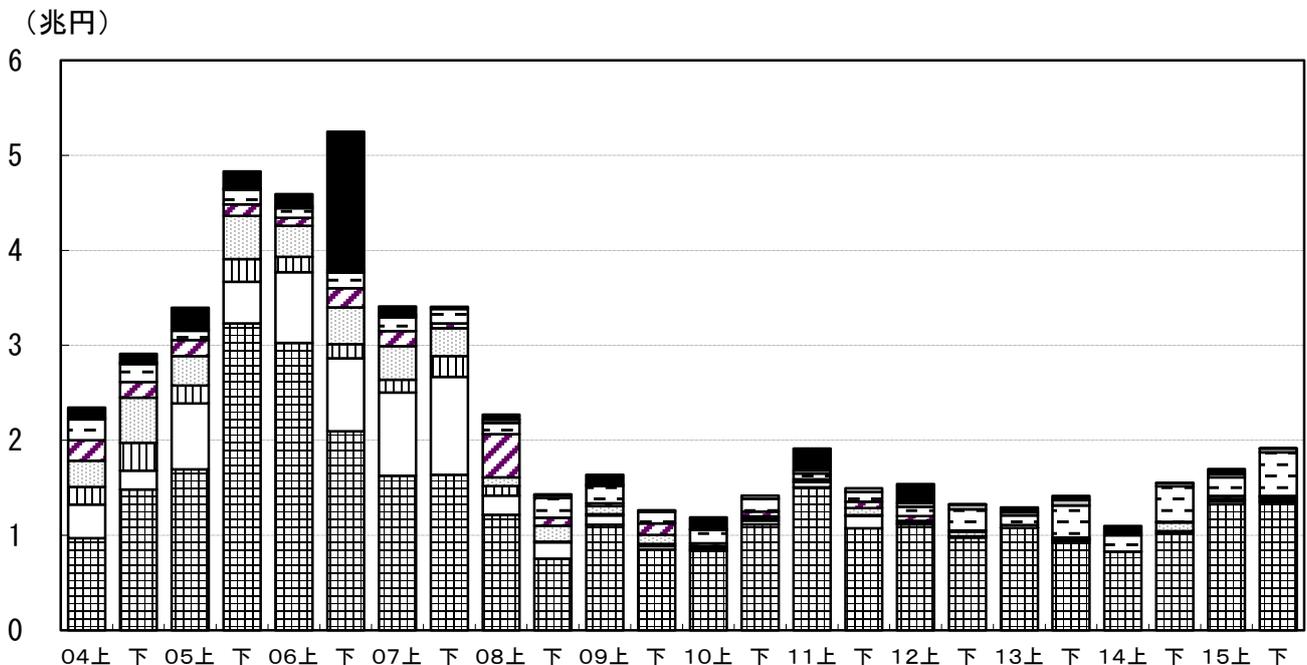
2. 裏付資産別の発行動向

2015年度下半期における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「RMBS」、「CDO」、「消費者ローン」、「ショッピング・クレジット」及び「売掛金、商業手形」が増加し、「CMBS」、「リース」及び「その他」は減少した。なかでも、「RMBS」は2011年度下半期以降で最も大きな発行金額となった（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者 ローン	ショッピング・ クレジット	売掛金、 商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	13,472	152	268	168	90	4,587	373	16	19,126
前年同期比(億円)	+3,321	▲122	+268	▲739	+25	+845	+34	▲32	3,601
前年同期比(%)	+32.7	▲44.4	- (※)	▲81.5	+38.5	+22.6	+10.0	▲67.3	+23.2
構成比(%)	70.4	0.8	1.4	0.9	0.5	24.0	2.0	0.1	100.0
発行件数(今期)	19	2	5	2	1	28	8	2	67
(前期)	21	2	1	1	1	21	8	3	58
(前年同期)	21	2	0	5	1	23	7	3	62

※「CDO」の前年同期比(%)については、前年同期の発行がなかったため「-」としている。

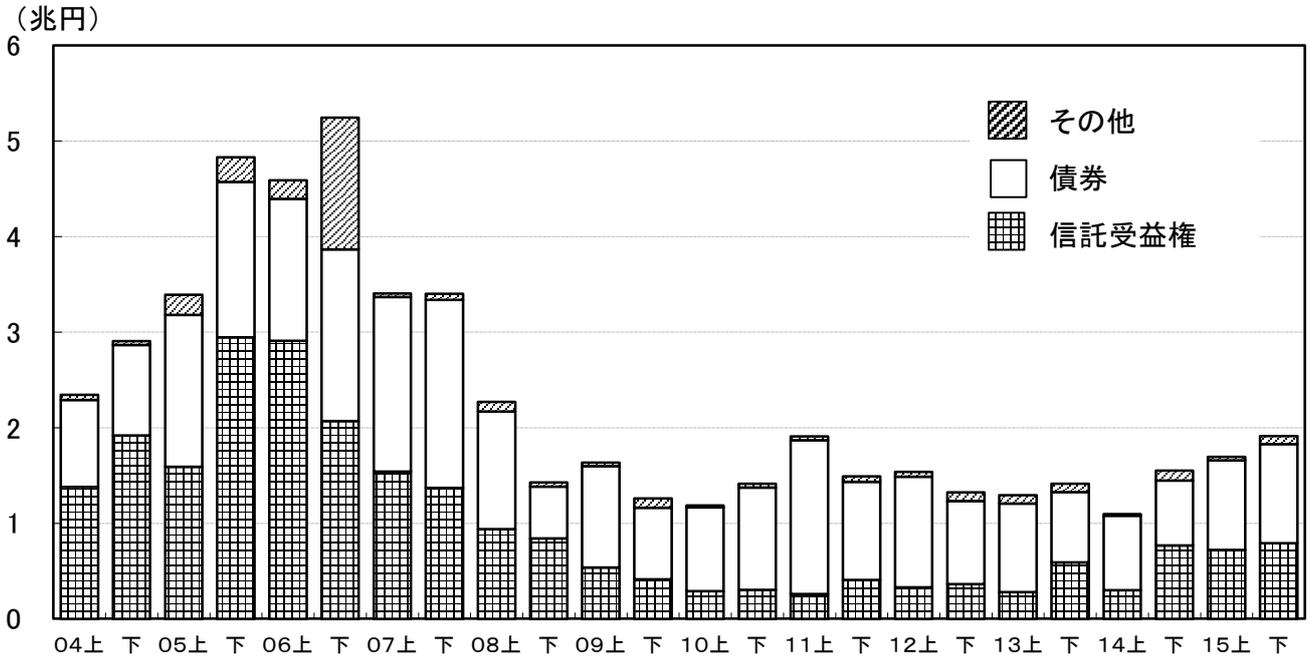


■ その他	基金債権、劣後ローン債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等
□ 売掛金、商業手形	売掛債権、手形債権
▢ ショッピング・クレジット	ショッピングクレジット債権、クレジットカード債権、オートローン債権
▨ 消費者ローン	消費者ローン債権、カードローン債権
▧ リース	リース料債権
▩ CDO	(Collateralized Debt Obligations) 企業向け貸付債権、社債、CDS等
□ CMBS	(Commercial Mortgage Backed Securities) 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産
▩ RMBS	(Residential Mortgage Backed Securities) 住宅ローン債権、アパートローン債権

3. 発行形式別の発行動向

2015年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆9,126億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が1兆351億円（構成比54.1%）と最も多く、次いで「信託受益権」が7,946億円（同41.5%）であった（図表3）。

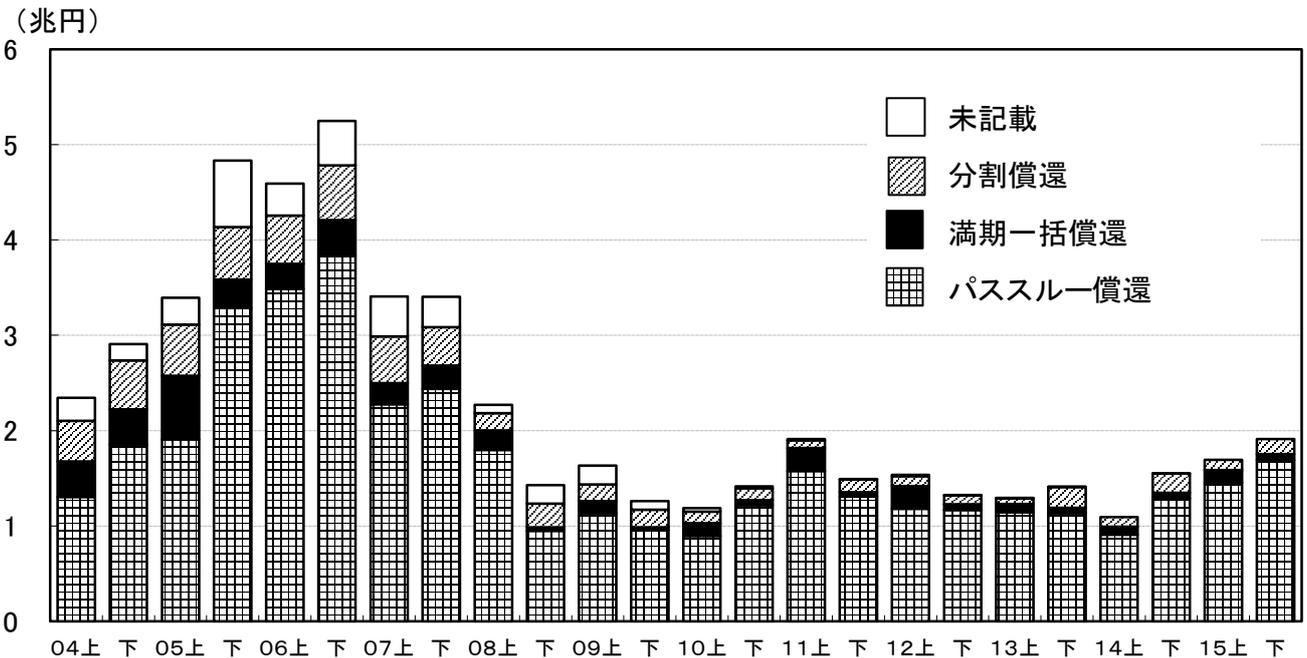
（図表3）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2015年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆9,126億円）の「償還方法」別内訳をみると、「パススルー償還」が1兆6,902億円（構成比88.4%）と最も多かった（図表4）。

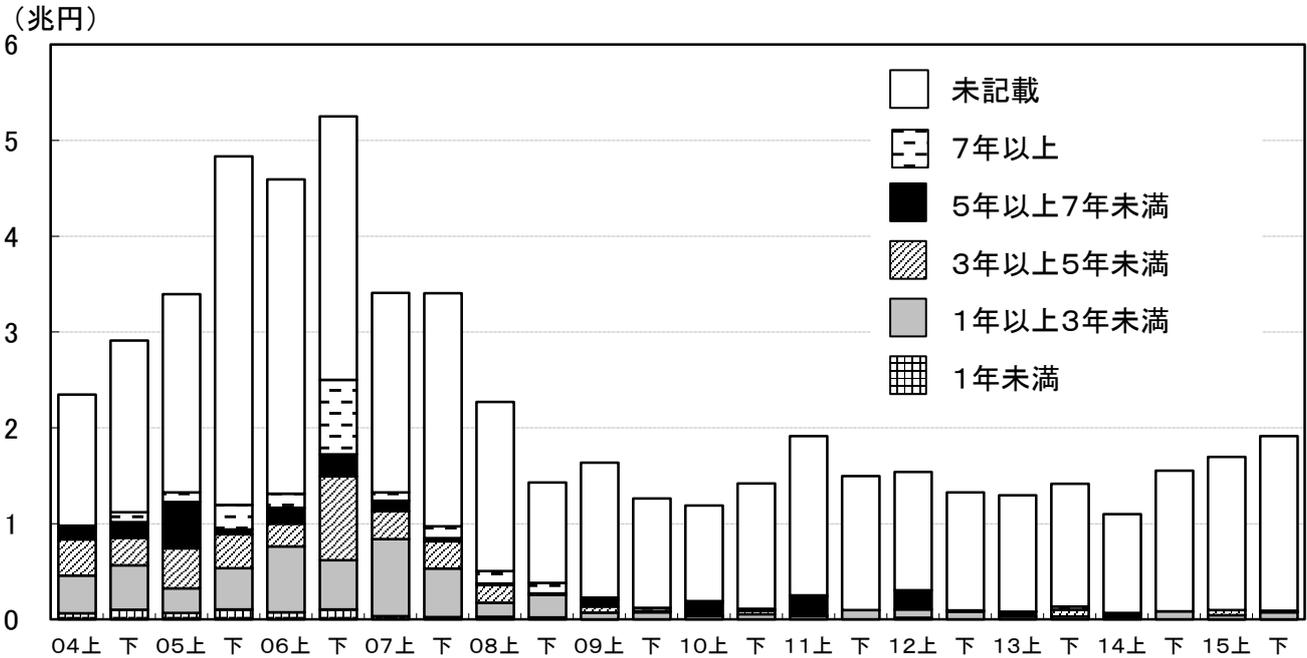
（図表4）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2015年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆9,126億円）の「予定／平均年限」別内訳をみると、「未記載」が1兆8,240億円（構成比95.4%）と最も多かった。記載のある中では、「1年以上3年未満」が731億円（同3.8%）と最も多かった（図表5）。

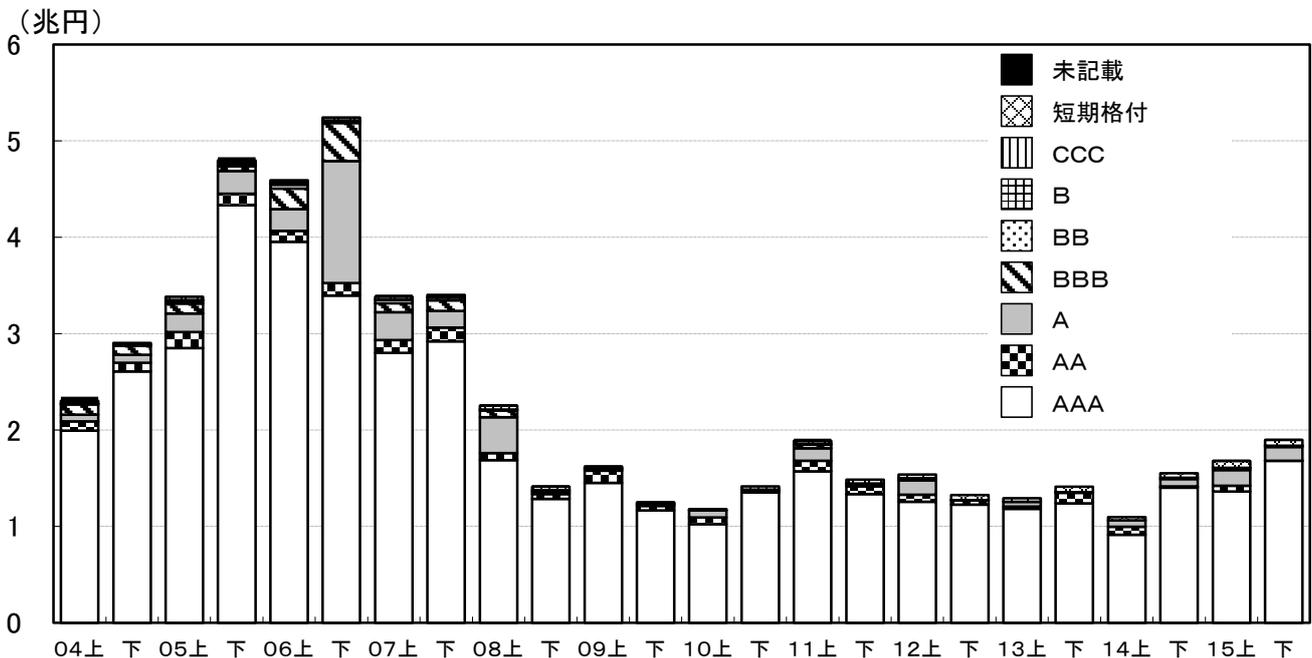
（図表5）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2015年度下半期における証券化商品の発行金額（1兆9,126億円）の「格付」別内訳をみると、「AAA」が1兆6,811億円（構成比87.9%）と最も多く、次いで「A」が1,425億円（同7.5%）であった（図表6）。

（図表6）証券化商品の「格付」別発行金額

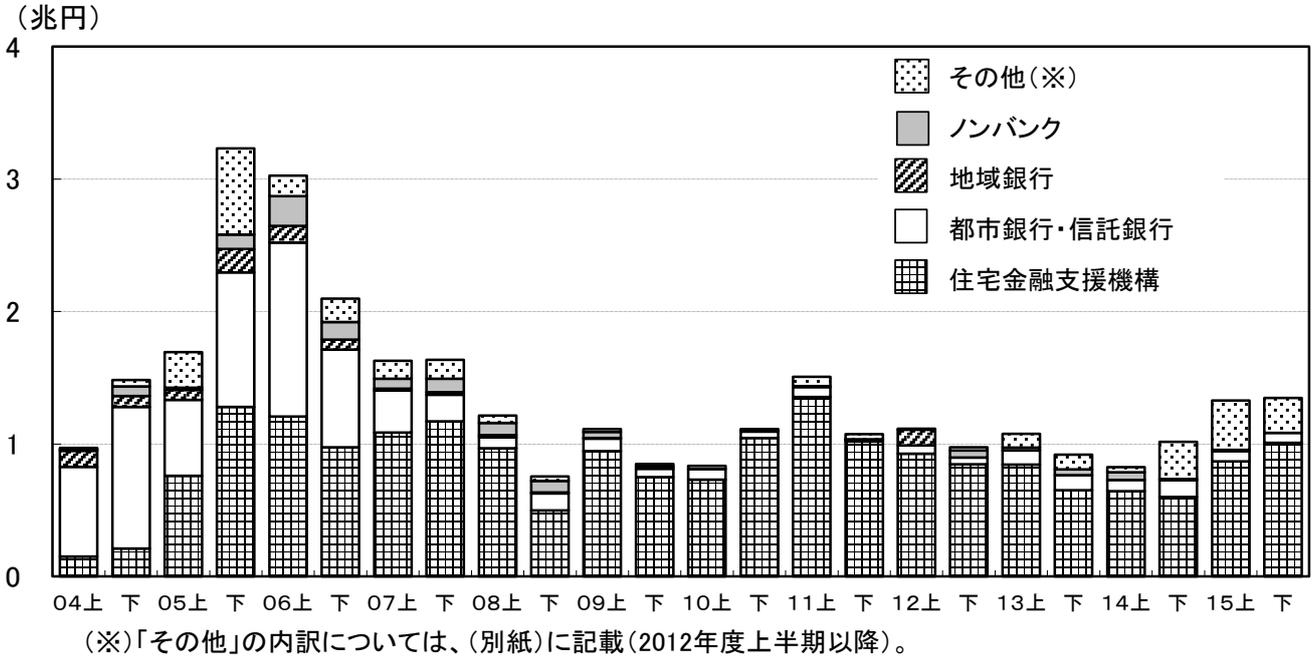


<補足>

① RMBSのオリジネーター別発行金額

RMBSの発行金額（1兆3,472億円）の「オリジネーター」別内訳をみると、「住宅金融支援機構」が1兆86億円（構成比74.9%）と最も多く、次いで「その他」が2,641億円（同19.6%）であった（図表7）。

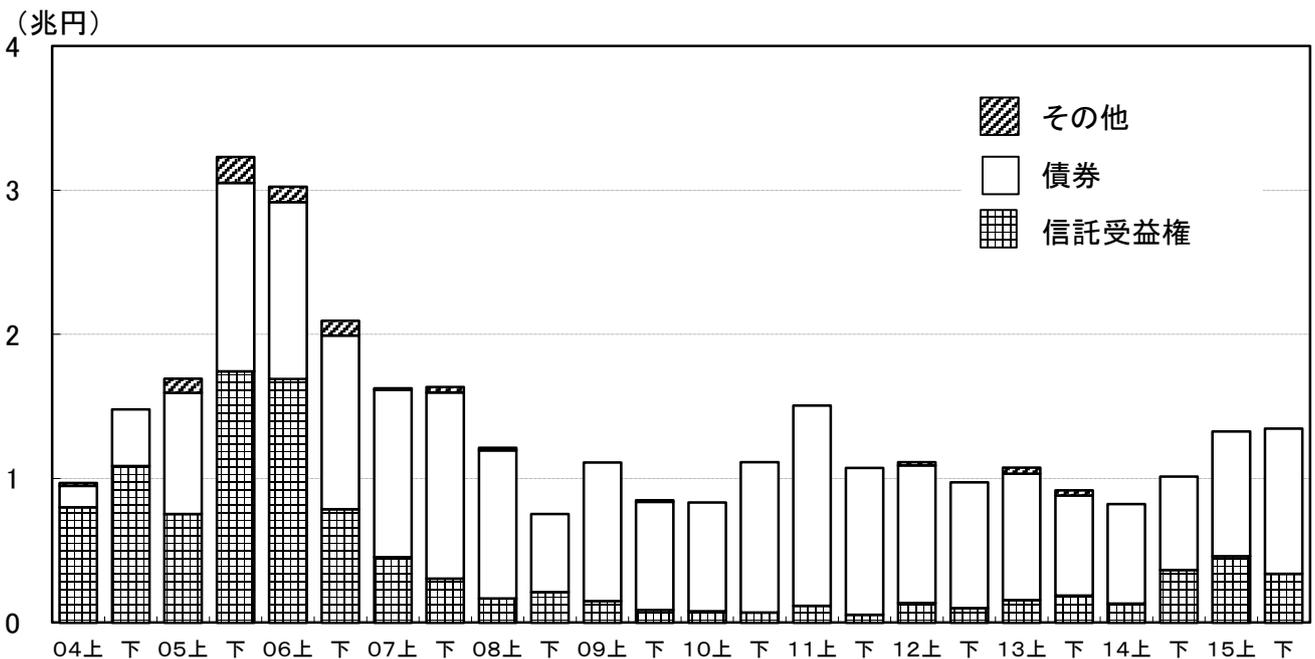
（図表7）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



② RMBSの発行形式別発行金額

RMBSの発行金額（1兆3,472億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が1兆86億円（構成比74.9%）と最も多く、次いで「信託受益権」が3,386億円（同25.1%）であった（図表8）。

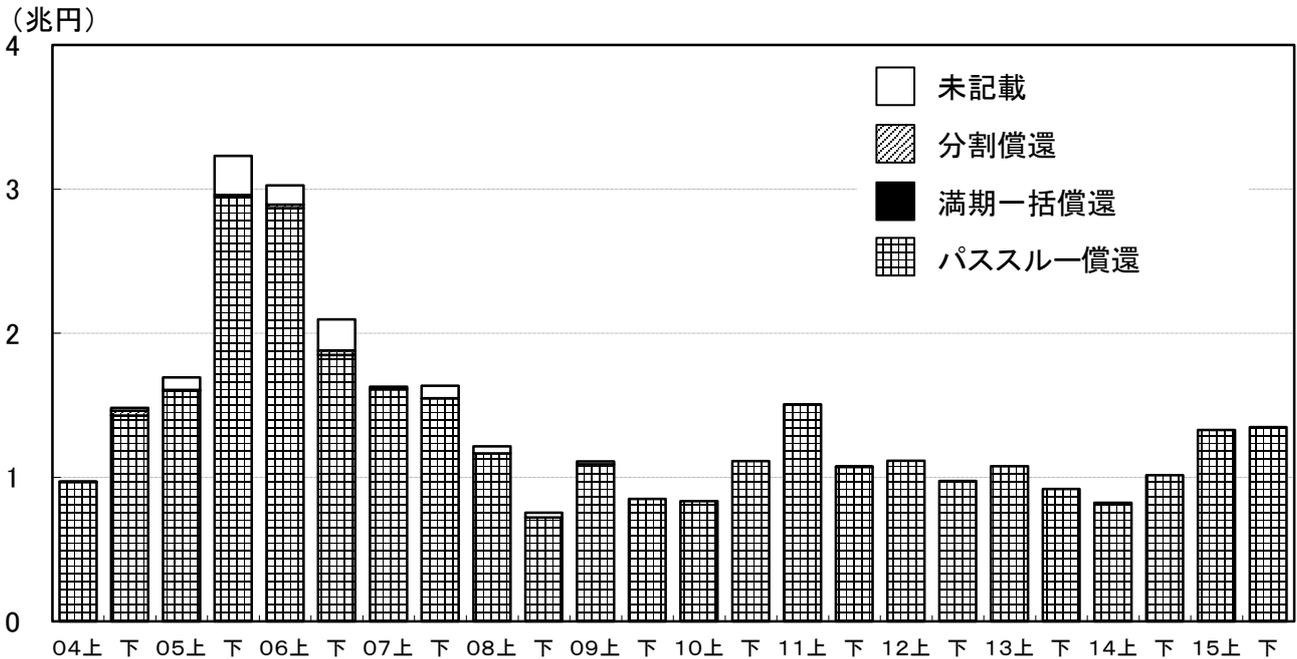
（図表8）RMBSの「発行形式」別発行金額



③ RMBSの償還方法別発行金額

RMBSの発行金額（1兆3,472億円）の「償還方法」別内訳をみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表9）。

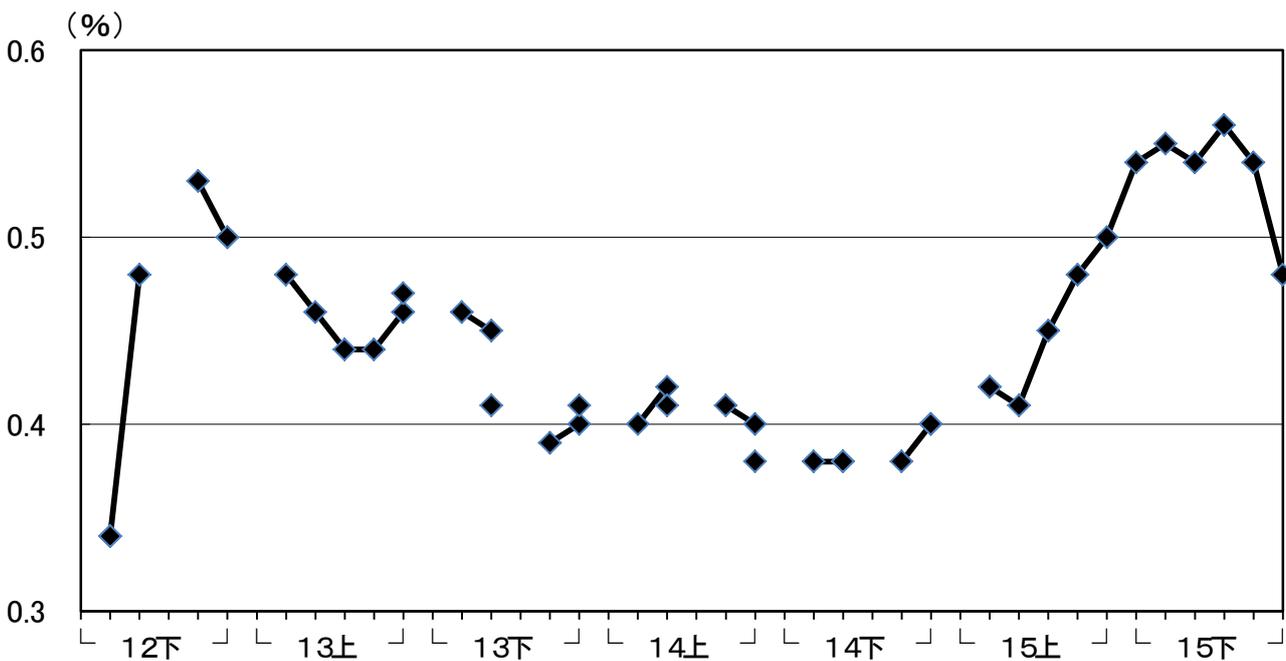
（図表9）RMBSの「償還方法」別発行金額



④ 住宅金融支援機構MBSのローンスプレッド

住宅金融支援機構MBSのうち貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンスプレッド（表面利率と条件決定時の新発10年国債利回りとの差）は、10月発行分から2月発行分にかけて、0.55%前後で推移し、3月発行分では縮小した（図表10）。

（図表10）貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンスプレッド推移



以上